

第25回 泉佐野市人権研究集会

Izumisano じんけん・わくわくスタジアム

どなたでも参加できます。

開催日 3月3日(日) (開場：正午)

場所 エブノ泉の森 大ホール

時間・内容

【正午～午後4時】

- 人権・平和パネル展
- わくわくミニ商店街 (売切れ次第終了)
生菓子、焼菓子、パン、雑貨などの販売

【午後1時～3時】

- 主催者・来賓あいさつ
- 講演 「ラグビー日本代表の多様性 ～国籍関係なく、国を背負って代表になる選手たち～」 廣瀬俊朗さん (ラグビー日本代表元主将)

※講演会終了後、アンケートを提出していただいた人に「さのぼ」1,000ポイントを進呈します！

定員 1,000人 (先着順)

申込・問合せ先 2月5日(月)～3月1日(金)に、氏名・電話番号・人数を電話、FAX、eメール、上記の申込フォームで人権推進課へ

※手話通訳あり。一時保育 (5人 [先着順]・1歳～就学前) あり、希望者は2月22日(木)まで



申込フォーム

ひろせとしあき 廣瀬俊朗プロフィール

1981年生まれ、大阪府吹田市出身。5歳からラグビーを始め、大阪府立北野高校、慶應義塾大学、東芝ブレイブルーパスでプレー (東芝ではキャプテンとして日本一を達成)。2007年日本代表選手に選出、28試合に出場。2012-13の2年間はキャプテンを務めた。現役引退後、MBAを取得。ラグビー W杯2019では国歌・アンセムを歌い各国の選手とファンをおもてなしする「Scrum Unison」や、ドラマへの出演など、幅広い活動で大会を盛り上げた。

現在の活動範囲はラグビーの枠を超え、チーム・組織作り・リーダーシップ論の発信や、スポーツの普及・教育・食・健康・地方創生に重点をおいた多岐にわたるプロジェクトにも取り組み、全ての人に開けた学びや挑戦を支援する場作りを目指している。



差別や人権侵害のない国際人権都市・泉佐野市をめざして

泉佐野市は、令和5 (2023) 年に「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」(差別撤廃条例)の改正を行いました。平成5 (1993) 年に制定してから30年、その間に「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ解消法」、「部落差別解消推進法」のいわゆる人権三法など人権尊重のための法律がつくられましたが、インターネット上の差別や人権侵害など、新たな人権問題が起こっています。新しい時代に対応した新しい条例で、「差別のない泉佐野市」をつくっていきましょう。



始まります！

泉佐野市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度



泉佐野市では、誰もが互いに人格や多様性を認め合い、大切なパートナーや家族と共に暮らすことができるまちの実現をめざし、令和6 (2024) 年1月1日からパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を開始しています。

【パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度とは？】

法律上の婚姻関係ではありませんが、一方または双方が性的少数者である2人が同居し、共同生活においてお互いを人生のパートナーとし、家族として対等な立場で責任をもって協力することを約束した関係にあること。また、パートナーである2人および同居する未成年の子 (実子または養子) または親が家族として生活する関係にあることを市に宣誓し、市が宣誓を証明する制度です。

【どのような人が対象になるのですか？】

次のすべての要件を満たしている人です。

- 成年に達していること
- 市内在住であること、または転入を予定していること
- 配偶者がいないこと
- 当事者以外の人とパートナーシップ・ファミリーシップ関係にないこと
- 宣誓者同士の関係が近親者でないこと
- (ファミリーシップの場合) 未成年の子または親と同居・同一生計であること

問合せ先 人権推進課

手続き方法や必要書類など、詳しくは市のホームページをご覧ください。



市ホームページ▶